

<筆記問題>…特別選考Bイ・Bウ、D、一般選考 受験者のみ実施

1 次の文章は、小学校学習指導要領（平成29年3月告示）、及び中学校学習指導要領（平成29年3月告示）の「第1章 総則 第1 小学校[中学校]教育の基本と教育課程の役割」の一部である。

文中のAとBに当てはまる適切な言葉を書きなさい。また、（ ）の①～⑧は、下の枠内の選択肢から適切な言葉を選び、記号で答えなさい。

※中学校学習指導要領における表記は[]で示すものとする。

※同じ番号には同じ語句が入るものとする。

学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、第3の1に示す主体的・**A**で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、次の(1)から(3)までに掲げる事項の実現を図り、児童[生徒]に**B**を育むことを目指すものとする。

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、（ ① ）等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、児童[生徒]の発達の段階を考慮して、児童[生徒]の（ ② ）など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童[生徒]の学習習慣が確立するよう配慮すること。

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己[人間として]の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる（ ③ ）を養うことを目標とすること。

道徳教育を進めるに当たっては、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、（ ④ ）の精神を尊び、社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人の育成に資することとなるよう特に留意すること。

学校における体育・健康に関する指導を、児童[生徒]の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めること。特に、学校における（ ⑤ ）の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科[保健体育科]、家庭科[技術・家庭科]及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科、外国語活動[中学校なし]及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。

児童[生徒]の発達の段階や特性等を踏まえつつ、次に掲げることが偏りなく実現できるようにするものとする。

- (1) 知識及び技能が習得されるようにすること。
- (2) 思考力、判断力、（ ① ）等を育成すること。
- (3) 学びに向かう力、（ ⑥ ）等を涵養すること。

各学校においては、児童[生徒]や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を（ ⑦ ）な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（以下「（ ⑧ ））」という。）に努めるものとする。

- | | | | | | | | | | |
|---|--------|---|---------------|---|--------|---|-----|---|-----|
| ア | 情報活用能力 | イ | 言語活動 | ウ | 教科等横断的 | エ | 創造力 | オ | 効果的 |
| カ | 道徳性 | キ | カリキュラム・マネジメント | ク | 食育 | ケ | 表現力 | コ | 公共 |
| サ | 人間性 | シ | プログラミング教育 | | | | | | |

※裏面に続く

- 2 次の文は、文部科学省「教育の情報化に関する手引【追補版】」（令和2年6月）の一部である。
（ ）の①～⑤に当てはまる適切な言葉を下の枠内の選択肢から選び、記号で答えなさい。
※同じ番号には同じ語句が入るものとする。

「情報活用能力」は、世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力である。より具体的に捉えれば、学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・（ ① ）したり、得られた情報を分かりやすく発信・（ ② ）したり、必要に応じて保存・（ ③ ）したりといったことができる力であり、さらに、このような学習活動を遂行する上で必要となる情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、（ ④ ）等に関する資質・能力等も含むものである。

このような情報活用能力を育成することは、将来の予測が難しい社会において、情報を（ ⑤ ）に捉えながら、何が重要かを（ ⑤ ）に考え、見いだした情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値の創造に挑んでいくために重要である。また、情報技術は人々の生活にますます身近なものとなっていくと考えられるが、そうした情報技術を手段として学習や日常生活に活用できるようにしていくことも重要となる。

- | | | | | |
|---------|-------|--------------|-------|------|
| ア 論理的 | イ 主体的 | ウ 伝達 | エ 双方向 | オ 比較 |
| カ 情報モラル | キ 共有 | ク 個別最適化された学び | | |

<教育に関する考え方や思いを問う記述問題>

…特別選考A、特別選考Bア・Bエ、C 受験者のみ実施

あなたは、未来を生き抜く子供たちに、どのような力を付けたいと考えますか。
箇条書きで3つ挙げ、そのうちの1つについて理由を述べなさい。

「学校教育に関するレポート」…全受験者実施

課題に対して、以下の点に留意し、レポート用紙に回答しなさい。

- ① 鉛筆又は、シャープペンシルを使用し、色ペンは使用しない。
- ② 図表等は、適宜使用しても良い。
- ③ 用紙の裏面は使用しない。

小・中学校教員、発達支援推進教員、養護教諭 共通課題

「はままつ人づくり未来プラン」後期計画では、「未来創造への人づくり」と「市民協働による人づくり」の教育理念のもと、「目指す子供の姿」を掲げています。

この「目指す子供の姿」を実現させるために、浜松市では、「キャリア教育を核とした人づくり」を推進しています。

あなたは、浜松市の教員に採用された場合、どのような点に配慮してキャリア教育を推進していきますか。「目指す子供の姿」に触れて書きなさい。